

成澤文和君 市展入選作品 鑑賞会報告

関 賢治 (2組)

10月16日(水)の昼前に、「蕨の会」立上げメンバーの成澤文和君(4組)、上原昇君(2組)、関の3名がさいたま市うらわ美術館(浦和センチュリーシティ内)で10月8日~11月3日開催の第22回さいたま市美術展(市展)の写真の部に入選している成澤君の作品を中心に鑑賞してきました。

政令指定都市さいたま市の市展は流石に出展数が多く、第6部写真だけでも106点の応募があり、88点が入選の中に成澤君の作品「ニツ岩」が展示されていました。(写真)

一瞬、二見ヶ浦の夫婦岩に大しめ縄がないと思って題名を見ると「ニツ岩」、言い得て妙。よくよく聞くと南房総市南無谷海岸の南端にある雀岩が正式名称との事でした。寄り添う夫婦岩を思い「ニツ岩」と題名にしたと感じました。

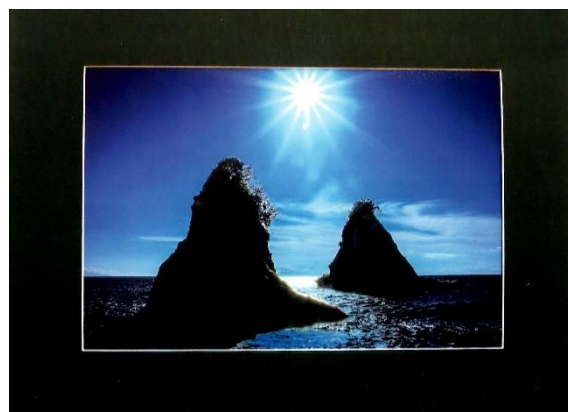
市長賞はと見ると、大正時代に巨匠フランク・ロイド・ライトが設計した目白の自由学園での卒業式当日、娘が窓越しに眺めている後ろ姿を一枚に校内を写した組み写真で、まだ現役の校舎に感激しました。

鑑賞後、JR浦和駅近くの「はなの舞」にて昼食をとりながら、来春の「蕨の会」(筆者が幹事)の甲州散策の日程調整を行い、2025年4月9日(水)~10日(木)で身延山久遠寺、武田神社をメインに湯村温泉泊で開催を決めました。

会員の皆さんへの案内は後日発送しますので、奮って参加ください。

成澤君からは「はなの舞」食事優待券をいただき、身も心も満腹で解散しました。

(2024年10月16日記)



以上